

熊本県における医師不足の現状と、 医師修学資金貸与学生・医師への 教育、支援

平成31年3月1日

熊本大学医学部附属病院
地域医療支援センター / 地域医療・総合診療実践学寄附講座
松井 邦彦

本日の内容

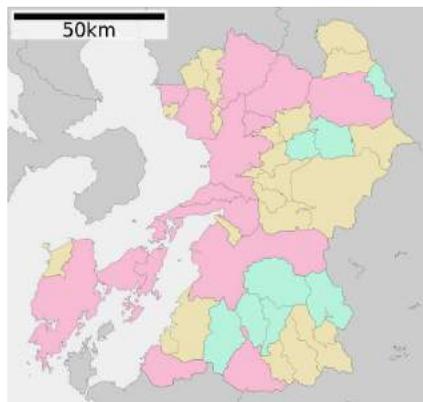
- 熊本県における医師不足の状況、偏在について
- 熊本県医師修学資金貸与学生/医師への教育、キャリア支援について
 - 熊本県と熊本大学医学部附属病院の取り組みについて

COI開示について

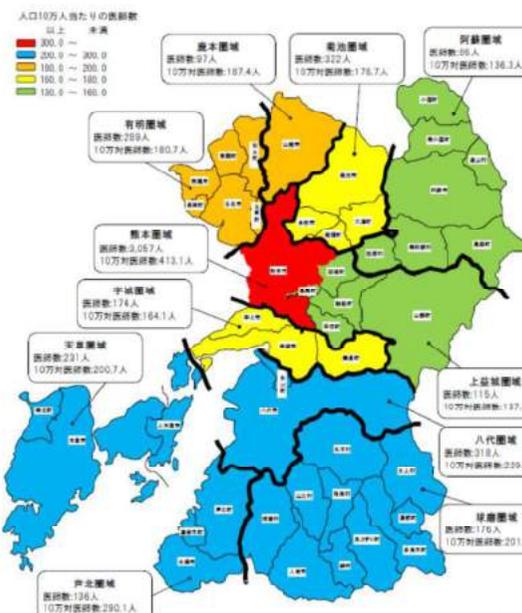
- 私は、熊本県が熊本大学医学部附属病院へ設置した寄附講座に所属しています
- 私がお話しする内容は、必ずしも熊本県の意向を反映しているものではありません

熊本県(人)の状況、特徴

- おおよそ2時間(一部は3時間)で熊本市から県内の各地域へ到達可能
- 主な離島は二つ
- 大学医学部が一つ
 - 専門医の育成、研究
 - 県内の地域医療に貢献する人材を輩出
- 県立病院がない
- 熊本市内に(大きな)医療機関が集中
 - それぞれが、活発に活動している
- 医師数は多い、しかし熊本市に偏在
- (最近)地震が多い
- 熊本が好き



熊本県の医師数(実数) : 5,001 人



<人口10万人当たりの医師数>
全国 240.1人

熊本県全体 281.9人
熊本市外 187.8人

熊本市(圏域) 413.1人

熊本県内の医師偏在、その対策

- 医師が、熊本市内に多くいる
- 医師は、熊本市外で少ない
 - 医師が、県内で偏在している
- 熊本市外で働く医師を増やすには？
 - 県外から、新たに医師をリクルート？
 - 熊本市内で働く医師に、県内の医師不足地域でも働いてもらう？

これまでの熊本県の状況

- 県出身の自治医大卒業生が、義務期間終了後も熊本県内の施設で働く割合は、全国最低だった
- 地域の医師不足が、大きな問題として認識されていなかった？
- 医師“確保”という言葉
- どのように、地域の医師不足対策を行うか？
 - 行政だけで行う限界
 - 医師の教育や育成、キャリア支援という視点や発想に欠けていた

県と大学との関係

- 以前は、遠い関係だった？
 - 自治医大卒業生の臨床研修に、熊大病院は含まれていなかった
- 近年、改善しつつある
 - 県のさまざまな政策医療を、熊大病院へ依頼
 - 地域医療センターを、熊大病院へ設置（2014年4月）

新たな仕組み、方向へ

- 地域で働く医師の育成、キャリア支援の重視へ
- 県医師修学資金貸与制度（いわゆる地域枠入学制度）の開始
- もちろん、Uターン、Iターン医師も歓迎します
- 熊本県を、一つの独立した枠組みと捉えて
 - 県内レベルでの対策
 - 県境を越えて、他県より引き抜くという発想ではない？
- オール熊本！

熊本県地域医療支援機構

1. 県内における医師不足の状況の把握・分析
2. 地域医療に従事する医師のキャリア形成の支援
3. 地域の医療機関から都市部の医療機関に戻ることができる仕組みづくり
4. 熊本県医師修学資金貸与医師のキャリア形成支援
5. 医師に関する求人・求職等の情報の発信、医師・医学生等からの相談対応
6. 県内医療関係機関等との協力関係の構築

医師のキャリア形成を重視、サポート



我々の主なミッション

- 熊本の地域医療の問題解決を目指して
 - 県修学資金貸与学生や医師の、教育、キャリア支援、義務履行の管理
 - 熊本で総合診療医を育成
- 女性医師支援の問題への対応も
- 熊本県が100%出資した寄附講座
- 熊本県の医師確保対策の変換を反映

熊本県医師修学資金貸与制度 概略

- 2008年(平成20年)度から、全国で地域枠の入学制度が開始
- 熊本県、熊本大学では、平成21年より一般枠、翌22年より地域枠入学制度を開始
 - 一期生が現在、卒後4年目
- 地域枠(入学)と一般枠の二種類
 - 全員に熊本県医師修学資金を貸与
 - この制度に伴い、入学定員を増加

熊本県医師修学資金貸与制度 概略

卒業後の義務

- 県内の研修病院で臨床研修
- これを含む貸与期間1.5倍の期間を、一定のルールに従い、知事指定の県内36施設に勤務

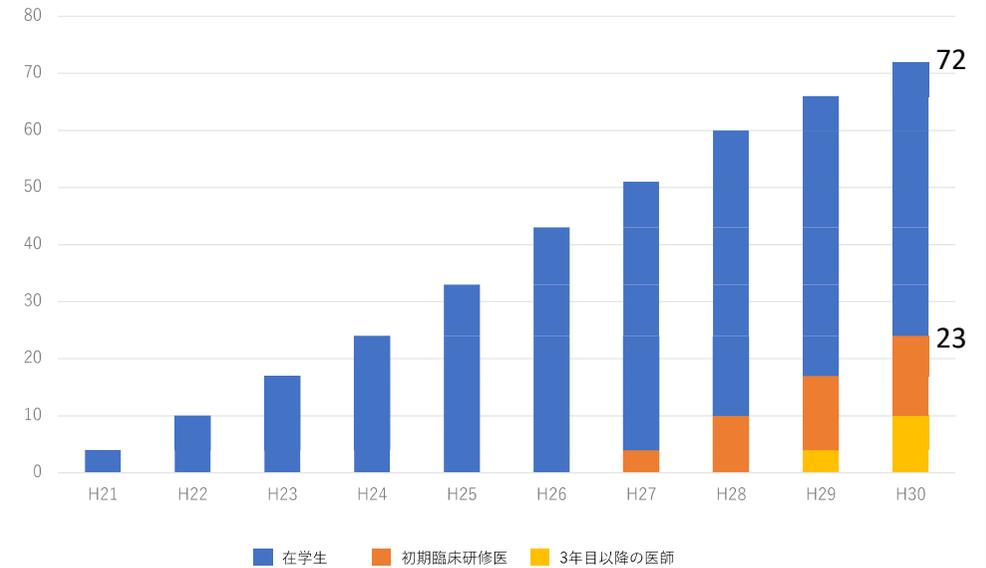
臨床研修終了後

- 専門分野の選択について、縛りはない
- 熊大病院のいずれかの診療科への入局を勧めている
 - キャリア形成支援と義務の償還の両立
- キャリア支援調整会議
 - 本人、大学診療科(医局)、県、地域の施設で、毎年の勤務先を検討
 - 地域医療支援機構の下部組織として

貸与者 (学生) への教育、支援

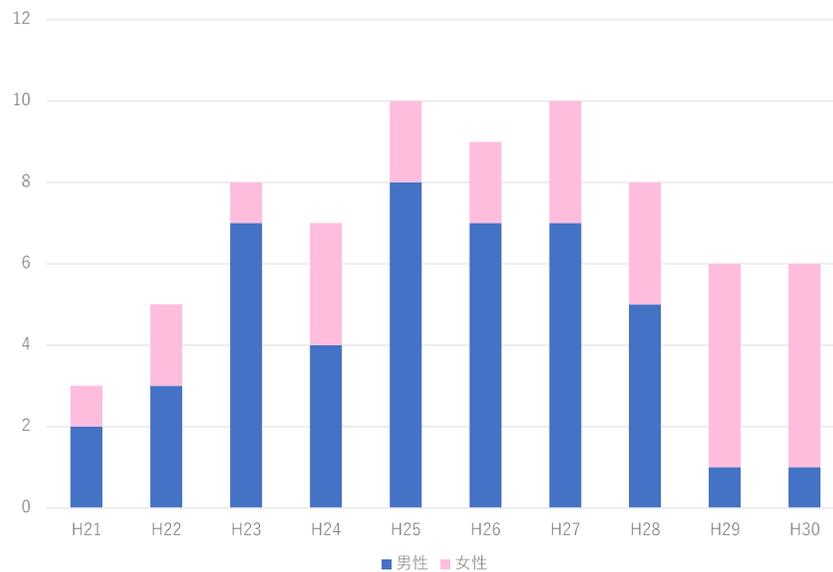
- 地域医療支援センター、地域医療・総合診療実践学寄附講座が中心
- 面談（年に一回）
- 地域医療ゼミ（毎月）
- 夏季地域医療特別実習（自治医大生との合同）
- 研究会、学会等への参加、発表
- 制度の説明（県医療政策課）

熊本県医師修学資金貸与制度 利用者数の推移



H30年(2018年) 10月

年度別 医師就学資金貸与制度 利用開始者数



義務離脱者（予備軍）対応、対策

- ハイリスク？
 - 様々な教育活動等に、参加しない人
 - 専門研修として、熊本大学外のプログラムに参加した人
 - 特殊な専門領域の志望者
- 面談
 - 機構理事長（熊大病院長）、熊大医学科長も交えて
- 熊本県医療政策課との連携、情報交換
- 大学の教員として、対応は限られている
- 熊本県として、法的な対応は限られている

学外施設へ教育拠点の設置

- 公立玉名中央病院（2015年4月より）
- 天草地域医療センター（2019年4月より）
 - 総合診療科の設置
 - 大学の教員が、スタッフとして常駐
- 学生や研修医等への、臨床教育の場として
- 大学病院で出来ないことを補う

問題点

- 現地スタッフ（教員）との連絡、コミュニケーション
- 病院側とのコミュニケーション
- 大学(常駐)教員を非常勤医として派遣
 - 診療と教育の支援

テレビ会議システムの活用

- 県の予算措置
- 大学病院と、県内地域の教育拠点、医療現場を結ぶ
 - 大学を含めて8か所(2018年1月末)
- 症例検討、困ったことの相談、教育支援
- 定例ミーティング、勉強会
- 講演会等の配信も検討中

W 熊本県女性医師キャリア支援センター Kumamoto woman doctor career support center



育児支援



メンター制度



セミナー情報



専任医師 後藤理英子
復職コーディネーター 高塚貴子



復職支援



短時間勤務

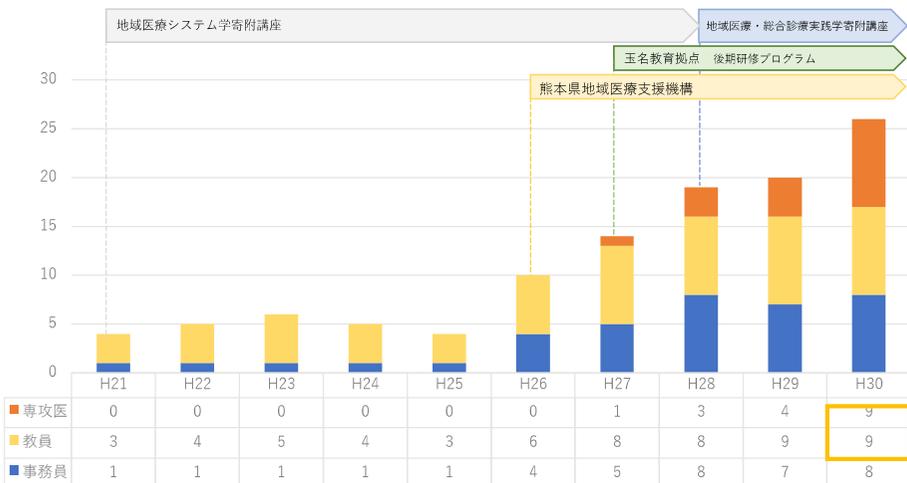
電話: 096-373-5795
メール: k-joseiishi@kumamoto-u.ac.jp
熊本大学医学部附属病院 地域医療支援センター内

事務方の支援

- 全員が熊本県からの寄附による雇用
- コーディネーターとして、大学OBと県庁OB
- 女性医師キャリア支援のコーディネーター(看護師)
- 事務補佐、広報



地域医療・総合診療実践学寄附講座/地域医療支援センター スタッフ数の推移（専攻医を含む）



熊本県医療政策課との連携

- 毎月のミーティング
 - 積極的に意見交換、情報の共有
 - お互いの考えの確認
- 教育活動にも参加していただく
 - 面談、夏季実習など
- スポンサーとしての県
 - 予算の確保！

これからの課題

- 熊本県内地域の医療ニーズに応える
- いかに円滑に義務を履行してもらうか
 - 離脱、義務不履行に対して、予防と対応
- 社会の流れへの対応
 - 専門医制度
 - 女性医師支援、働き方改革
- 大学(病院)内での、我々の位置づけ
 - 現状は、100%県よりの寄附による

まとめ

- 熊本県における医師の偏在、地域の医師不足について
- 熊本県医師修学資金貸与者に対して
 - 教育、キャリア支援
- 熊大病院地域医療支援センター/地域医療・総合診療実践学寄附講座の取り組みについて
- 地域で活躍する医師を増やすには？